

あいせい

第 369 号

発行日 令和 4 年 2 月 1 日

発行人 愛正会企画会議

編集人 愛正会企画会議

発行所 (株)茨城福祉サービス

Tel 0293 (22) 5848

Fax 0293 (23) 7276

医療法人・社会福祉法人 愛正会広報紙



▲総勢十五名のかわいい鬼たち。カメラ目線の鬼が少ないのがイイです。

はぎの杜愛育園では、二月三日(木)に節分集会を行いました。「豆まきは、中国の鬼を払う風習が日本に伝わったもので、新しい春を迎え、病や災いのない年になるようにという願いが込められた行事です。子どもたちは、クラス毎に製作したお面を着け、手作りの升(豆入れ)を持って全園児が参加しました。それぞれ、とても個性的で上手に作る事が出来ました。

集会では、ペープサートや紙芝居を通して節分についての話を聞き学んだり、ピアノに合わせて「まめまき」の歌を元気いっぱい歌いました。三、四、五歳児のお友だちには、自分の中から追い出したい鬼を発表してもらいました。「泣き虫鬼」「弱虫鬼」「怒りん坊鬼」「ふざけ鬼」等、しっかりと答えることができ頼もしい姿がみられました。

続いては、皆が楽しみにしていたゲームです。ペットボトルで作ったピンに鬼の顔を貼り、ボールで倒す「鬼たおしボウリング」や保育園のなかに隠した豆を探す「豆探しゲーム」を行いました。どちらのゲームもワイワイと楽しんでいました。最後はいよいよ「豆まき」です。ゲームで探してきた豆を「おにはーそと!!」と遊戯室にいる鬼に向かってたくさん投げました。力いっぱい豆を投げて自分の中にいる鬼を追い出すことができたのではないかと思います。

コロナ禍ということで、行事の縮小や中止もあるなか、園内行事を行ない、子供たちの笑顔を見ることができて良かったと思います。これからも、子供たちと伝統行事や保育園での日々の生活の中で楽しんでいけたらと思っています。暦の上ではもう春です。みんなの所にたくさんのお福がやってきますように。

はぎの杜愛育園
保育士 小野 賢子